

マクドナルドのCSRの考え方

企業の社会的責任を果たすとは、
 企業自らの社会的役割と責任を自覚し、
 社会との持続的な関係を維持し、
 社会からの期待や要請に応えることです。
 その社会との具体的かかわりは、
 ステークホルダー（利害関係者）との関係から知ることができます。
 そして、この関係からマクドナルドのCSRの考え方が導かれています。

ステークホルダーとの関係から、私たちの社会的責任のあり方が具体的に見えてきます。私たちはレストラン・ビジネスを展開していますので、食に関連する社会的責任は大きなものがあります。また、マクドナルドはピープルビジネスであると考えており、社員やクルーに対する社会的責任も重要です。地域社会に対する姿勢は、マクドナルドの創業者であるレイ・クロックの「私たちをいつも支えてくださっている地域の皆さまへお返しをする義務がある」という言葉に象徴され、具体的な活動につながっています。そして、事業活動を行う上で発生する環境負荷削減の取り組みは、さまざまな環境問題に対する喫緊の社会的責任です。これらの社会との関係をふまえ、私たちは4つのカテゴリーに注力して取り組みを行っています。



Food

食の安全・安心、
 持続可能な食材の調達、衛生管理

Planet

環境保全、廃棄物対策、
 エネルギー対策（気候変動対策）

Community

社会貢献および支援活動

People

多様な人材の活用と働き方の推進、
 キャリア開発の推進

そして、これらの基盤が **コーポレート・ガバナンス** であり、マクドナルドの理念である **QSC&V** です。